

令和元年度第1期 技術習得支援研修の開講式を実施しました

＜長崎県新規就農相談センター＞



R1.6.3 「開講式」 研修生20名、聴講生1名の 合計21名



R1.6.4 「ワークショップ」 3班に分かれての意見発表

令和元年6月3日、長崎県新規就農相談センターにおいて、令和元年度第1期生の研修開講式が行なわれました。農業経営課から主催者挨拶、来賓の農業大学校長からは、激励の言葉をいただきました。6月にスタートした技術習得支援研修は、2ヶ月の座学研修、10ヶ月の受入農家研修の合計1年間の研修を行ないます。

翌日、6月4日のワークショップでは、3班に分かれて、自分達がめざす農業について、課題や解決方法などを発表しました。

今回は定員20名＋聴講生1名の21名と、これまでで最多の人数での研修開始となりました。前職の経歴も、希望する品目もさまざまですが、農業に対する思いはみなさん共通で、それぞれ熱いものがあり、自分達がめざす農業について、積極的な意見交換がなされました。